

代表者名	酒井 一郎	所管部課名	観光文化スポーツ部交通政策課
所在地	北秋田市阿仁銀山字下新町41-1	設立年月日	昭和 59年 10月 31日

【沿革及び県の出資理由】

国鉄改革に伴い鷹角線は廃止対象路線に選定されたが、沿線住民の重要な交通手段であることから、県と関係町村が主体となり存続することで合意され、それぞれの出資により昭和59年10月31日会社を設立した。

【出資者】（24年度当初）

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	115,800	38.6
市村	3	115,800	38.6
その他	18	68,400	22.8
計	22	300,000	100.0

【事業】

①主たる業務

秋田内陸縦貫鉄道の経営

②事業実績

(人)

事業名等	21年度	22年度	23年度
輸送人員	482,068	412,736	411,352

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

平成23年度は、北秋田市の高校定期補助制度により通学定期が大幅な増加となりましたが、東日本大震災による影響が1年を通し大きく、輸送人員は昨年度を1千人下回る411千人となりました。収支につきましては、人件費の削減を図りましたが、軽油高騰による動力費増、豪雪による除雪費の増等により、経常損失2億5千万円となり昨年度より640万円の改善に留まる結果となりました。

平成24年度は、4者合意による経常損失2億円以内達成の最終年度であり、絶対達成の具体策として経常損失6千万円の改善のため経費削減3千万円と収入増加3千万円の改善に向け取組んでまいります。また、安全で安定した輸送サービスのため、老朽施設の計画的改修整備と安全教育による意識改革の向上を図ってまいります。

【組織】

①役員数 (H24.7.1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	2
内、県退職者		
内、県職員	2	
計	5	2
内、県関係者	2	

②職員数 (H24.4.1現在)

(人)

正職員	49	正職員 平均年齢 43歳	正職員 平均勤続年数 16年
内、県退職者			
出向職員	2		
内、県職員			
臨時・嘱託	4		
内、県退職者			
計	55	正職員平均年収 3,398千円	
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	1人
役員報酬支給対象者平均年齢	64歳
平均役員報酬額	3,488千円/年

【財務】

①損益状況 (23年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	234,178
受託事業収入	14,080
補助金収入	24,906
自主事業収入	191,830
運用益収入	
その他	3,362
経常支出 B	485,301
人件費	225,019
その他	260,282
経常損益 C = A - B	△ 251,123
経常外収入	441,744
経常外支出・諸税	184,918
当期損益	5,703

②財務状況 (23年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	268,912	63.9
固定資産	151,927	36.1
資産計	420,839	100.0
流動負債	329,090	78.2
短期借入金	85,000	20.2
固定負債		
長期借入金		
負債計	329,090	78.2
資本金	300,000	71.3
剰余金	△ 208,251	△ 49.5
純資産計	91,749	21.8
負債・純資産計	420,839	100.0

	(千円)
県の損失補償額	
県の債務保証額	

	(千円、%)		
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	中小企業退職共済制度を採用		100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	159,112	272,355	295,449	鉄道軌道輸送対策事業費補助金、地方鉄道運営費補助金、第三セクター鉄道設備整備費補助金
委託費	5,149	7,323	8,667	ふるさと雇用再生臨時対策基金事業、緊急雇用創出臨時対策基金事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 展 全 性	自己資本比率	%	39.28	37.68	21.80	△ 1.60	△ 15.88
	借入金依存率	%	23.14	17.52	20.20	△ 5.62	2.68
	流動比率	%	40.96	44.55	81.71	3.59	37.16
	経常収入額	千円	222,922	213,481	234,178	△ 9,441	20,697
収 益 性	剰余金（△欠損金）	千円	△ 206,630	△ 213,955	△ 208,251	△ 7,325	5,704
	経常利益率	%	△ 112.55	△ 120.63	△ 107.24	△ 8.08	13.39
	総資本利益率	%	△ 105.54	△ 112.78	△ 59.67	△ 7.24	53.11
効 率 性	総資本回転率		0.94	0.93	0.56	△ 0.01	△ 0.37
	職員1人当たり経常収入	千円	3,843	3,500	4,038	△ 343	538
	人件費比率	%	116.05	112.84	96.09	△ 3.21	△ 16.75

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営 改 善 指 標	経常損失額（千円）	目標	200,000	200,000	200,000	200,000
		実績	250,902	257,526	251,123	
事 業 成 果 指 標	人件費比率（支出割合）（%）	目標	54.0	54.0	54.0	54.0
		実績	54.6	51.2	46.4	
事 業 成 果 指 標	輸送人員（人）	目標	600,000	600,000	600,000	600,000
		実績	482,068	412,736	411,352	
事 業 成 果 指 標	売上高（千円）	目標	340,000	268,000	266,600	235,273
		実績	215,467	201,837	191,830	
顧客満足度指数	目標		60	60	70	70
	実績		67	63	61	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

輸送人員において、東日本大震災による影響が大きく、特に観光利用客が激減となりました。一方、通学定期においては北秋田市の高校定期補助制度による大幅な増加と中学定期が増加となりました。しかし、通勤定期が大幅に減少となり、対前年1千人下回る411千人となりました。収支につきましては、輸送人員同様に収入は減少しましたが、補助事業による修繕費補助金が営業外収入に計上され昨年度を上回る収入となりましたが、支出において、人件費の削減を図りましたが、軽油の高騰による動力費増、豪雪による除雪費の増などにより昨年度を上回り、経常損失2億5千万円の対前年640万円の改善に留まり目標を達成することはできなかった。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

経営改善のため、利用者の少ないダイヤの削減により車両整備費、動力費、人件費の経費削減を実施したことで、お客さまの満足度を下げる結果となった。
お客さまの声をもとに、利用しやすい列車ダイヤの見直しに取り組みます。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響等により、鉄道事業収入は10百万円減少した。関連事業収入・受託事業収入は増収となったものの、鉄道収入の減少を補うまでには至らなかった。 ・人件費を15百万円削減したが、修繕・除雪等によりその他の営業費用が30百万円増加した。修繕費関連の補助金24百万円を雑収入に計上したこともあり、経常損失は6百万円改善した。 <p><早期の改善が望まれる事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・増収と人件費・修繕費削減により経常損失2億円以内の達成を図る計画であるが、種々の施策の効果を適時に把握し、結果次第では代替策も実施する等、臨機応変な取り組みが求められる。 	